

静岡大学

学部・学群	課程・学科	専修・専攻・コース・分野
教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育学専攻 保健体育専修
地域創造学環		
住所	〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836	
問い合わせ先	教育部 学務係	TEL 054-238-4580
	地域創造学環 事務室	054-238-4311

区分	定員	配点		個別学力検査				特記事項
		センター	個別	実技	面接	小論文	筆記	
前期	14	900	300	300	—	—	—	実技：教科教育学専攻 保健体育専修
	5	600	800	600	—	200	—	地域創造学環 選抜方法 C
後期	5	900	400	—	200	200	—	地域創造学環 ※全学一括

過去に実施された内容をもとに作成しておりますが、必ず大学発表の受験要項をご確認ください。

前期日程

●教育学部保健体育教育専修実技検査

器械、陸上、ボール及び表現の各運動領域における技能について検査します。

●地域創造学環(教育プログラム)選抜方法 C(スポーツ系) 実技検査

基礎的かつ複合的な運動能力についての検査を行います。

〔注〕

- 検査を受ける運動着には、胸と背にゼッケン〔20cm×20cm の白布に受験番号を黒書〕をつけてください。
なお、ゼッケンをつける際に、安全ピンの使用は禁止します。
また、出身校や氏名が特定できる服装は避けてください。
- 運動靴は、屋内用と屋外用を用意してください。どの種目でもスパイクシューズは使用できません。

過去の課題 前期（平成 29 年度）

●教育学部保健体育教育専修実技検査

■器械（マット運動）

- 倒立前転 → 側方倒立回転 → ロンダート → 伸膝後転
- ストレッチ等を 5 分程度行い、2 回練習。試技は 1 回
- ロングマット 2 枚（12m）

■陸上競技（50mハードル/4 台）

- 第一ハードルまでの距離は 10m、ハードル間の距離は 7.5m（男女共通）
- フォームチェックなし、タイム＝評価

■ボール運動

- ① スタートの合図で、テニスボールをバットで 5 回叩く。バットは木製で 60cm 位の物。
- ② マーカーの上にサッカーボールが置いてあり、ドリブルで往復。コーンは 4 つ、見本の後練習 1 回。

■表現（ダンス）

- テーマはなく、試験官が説明をしながら見本を示す（基本的なダンスのステップ）。
- 5 分間練習の後、1 人ずつ演技。30 秒間で音楽有り。
- 剣道場にて一人ずつ実施。他の受験生は別室に待機。

●地域創造学環(教育プログラム)選抜方法 C(スポーツ系) 実技検査

■70m走

- スタンディングスタートから2名で実施し、タイム計測1回。
- スタート地点の前方に信号機のようなものがあり、青く光ったらスタート。光るタイミングはランダム。

■ハンドボール投げ

- 男女とも2号球を使用、1分間練習が与えられる。
- 巻投げはファール

■荷物運び

- スタート位置から水が入ったサンドバッグ（30kg）を担いで、マット4枚をスラロームで進み、コーンを折り返してゴール。
・サンドバッグの重量は30kg（女子も同様）

■ボール運動

- ①ドッジボールを使用し、サッカーのドリブルでフェンスの間をスラロームで進む。フェンスは、卓球で使用する物で2m間隔6台設置。
- ②フラフープの中にボールを置き、2m四方の枠の中で※インディアカボールをアンダーハンドで連続5回。頭上まで上げるように指示がある。
- ③フラフープに置いたボールでバスケットのドリブル(往路と同様スラローム)。ゴールラインで静止し、ボールを頭上に掲げてゴール。

●地域創造学環(教育プログラム)選抜方法 C(スポーツ系) 小論文

高齢化社会の問題点を複数あげ、その中の一つを地域づくりと関連させ、アートまたはスポーツに関わる立場から、解決に向けた取り組みについて具体策を述べなさい。※ 60分 600字以内 下書き用紙あり、横書き原稿用紙

過去の課題 後期（平成29年度）

●地域創造学環(教育プログラム)選抜方法 C(全学一括)

【小論文】

※出典：好井裕明『差別原論』平凡社新書2007年より。

次の文章をよんで、後の問一と問二に答えなさい。

【面接】

募集要項に記されている「思考力、判断力、表現力、自ら学び成長していく意欲等」を総合的に評価する。

1. 受験生の受験番号の確認
2. 「まず、あなたが今後学んでいきたいと思っている事柄に関連して、あなたが最近経験したこと、或いは身近にまたは報道などで見聞きしたことの中から、特に気がついたことについて、3分程度で話してください。」
3. 5程度の質疑応答。
4. 「では、そちらのテーブルの上に、6つのモノが置かれています。そのうちいずれか1つについて、質疑応答をしますので、どれがよいか、1～2分で選んでください。選ぶ際に、手にとってもらっても構いません。選びましたら、こちらのテーブルに持ってきて、着席してください。」
5. 「なぜそれを選びましたか。それを見て、何を考えましたか。」
6. 以降、8分程度の質疑応答。

詳しい内容については体育進学センターまで、お問合せください。

代々木校 TEL.03-5351-6301

横浜校 TEL045-316-6055

大阪校 TEL06-6572-5521

問合せアドレス info@e-tsishin.com